

大阪府防災情報システム概要構想・  
要件定義（あるべき姿の検討）・調達支援・導入支援業務  
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会  
第2回会議 選定結果

1. 日時及び場所

書類審査及びプレゼンテーション審査

平成31年4月26日（金曜日） 15時00分から18時00分まで

災害対策本部会議室（新別館北館1階）

2. 審査方法

あらかじめ定められた審査基準（公募実施要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査を行った上で、合議により100点満点で評価を行った。

3. 提案事業者（全2者：受付順）

- ・I T b o o k株式会社
- ・株式会社建設技術研究所 大阪本社

4. 議事概要

(1) 最優秀提案者選定基準の確認

(2) 選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）

(3) 提案状況、審査・採点方法及び審査基準の確認

(4) 企画提案内容について、提案者が30分間のプレゼンテーションを実施。

その後、選定委員から質疑応答を実施。

【主な質問の内容】

- ・システム化する業務と、しない業務の考え方について
- ・独自の防災システムを導入している市町村の二重入力の手間の解決方法について
- ・自治体の防災アプリにおける普及の課題と、民間の防災アプリの活用について
- ・発注者とシステム開発事業者の間で瑕疵かどうかを焦点に裁判が生じる例があるが、その対応策などの考え方について

(5) 採点結果について説明し、最優秀提案者を選定

【優秀提案者】

I T b o o k株式会社

総合評価点 79.5点（100点満点）※総合評価点は、委員合議制による評価

（うち、企画提案部分 69.5点、価格提案部分 10.0点、

提案金額 27,227,200円）

【優秀提案者の選定理由】

- ・ 選定委員会会議において、事業の企画内容、実施体制、提案金額等を総合的に審査した結果、受託事業者として適切であると判断されたため。

○提案事業者の評価点

応募者が2者であったため、次点者の得点は公表しません。

【講評での主な委員意見】

- ・ 経験に基づいた記述が随所に見られ、災害対応のノウハウや大阪府が知らない知識を持っていると期待できる。
- ・ 府が求める提案を具体的に理解し、有効な手法を整理し提案してきている。

5. 選定委員会委員（敬称略、順不同）

職名	委員名	選任理由
人と防災未来センター 主任研究員	なかばやし ひろのぶ 中林 啓修	災害対策に関する高い知見を持ち、防災研究に関する専門的な立場から、審査項目のうちあるべき姿の構想、システム要件の策定実施体制と業務遂行能力等、業務全般を審議していただくため。
大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 教授	みやもと たか お 宮本 貴朗	自治体の情報システムに関する高い知見を持ち、専門的な立場から審査項目のうち、設計案及び実現可能な経費削減効果の優位性を審議していただくため。
弁護士	こにし はなこ 小西 華子	公平公正な法律の専門的立場から個人情報等にかかるコンプライアンスの取扱を審議していただくため。